

宗谷

宗谷教職員組合

〔宗谷情報〕No.18 平成25年2月26日発行
発行責任者：八木 博

〒097-0004 稚内市緑2丁目4-21 宗谷教育会館
Tel 0162-22-2480 FAX 0162-22-2484
web : http://www.soya-teachers.org Mail : info@soya-teachers.org



集う意義を確かめ合い、豊かな宗谷教組づくりを進めよう

第24回定期大会

20本の発言、ありがとう♡

年に一度の節目、宗谷教職員組合第二四回定期大会を、二月二十三日日に稚内総合文化センターで行いました。代議員はもちろん、傍聴での参加もちらほら。夜の激励交流会と合わせて、これまでの取り組みの軌跡を確かめました。各支部から合わせて二十本の発言からは二〇一三年の様々な取り組みに向けた数々の教訓や名言も生まれました。

青年の発言が頼もしい！

中頓別支部の栄養教諭・杉山先生は、春に組合に加入を決意し、青年部活動や合同教研に参加した経験から、集うことと学ぶことの大切を語ってくれました。そして、宗谷教組はもちろんだ教組唯一の栄養教諭組合員として「全教栄養職員部の活動にも参加したい」と今後の抱負を語ってくれました。

何もしないで一〇〇筆よりも、何かやって一〇〇筆！

秋に取り組んだ教育全国署名。宗谷全体の筆数の三分の一を集めた猿払支部。分会長として過ごした経験と関連付けて、

鬼志別小分会の分会長、宮里先生の名言「何もしないで一〇〇筆よりも、何かやって一〇〇筆」です。

宗谷ではなかなか教育全国署名に取り組めない課題があります。しかしながら、分会・支部で必要性を確かめ合って、一斉に行動することの大切さを鋭く突いた名言です。今後の署名ではこの意識を管内的に広めていきたいですね。

支部のアンテナを高く掲げよう！

浜頓別支部・高森先生からは、「教職員給与費適正執行調査」の問題点について発言がありました。支部として町の教育活動にアンテナを高く掲げ、問題点があるならば教育関係者



との対話で解明していくというシンプルかつ大切な営みが支部として行われたことの報告でした。支部として、学校づくりの課題や先生方の力合わせに困難性を持たせる課題に真っ先に着手することはとても大切なことです。組合に集うからこそ大切にしていきたい視点、これからも大事にしていきたいでしょう。



支部として夢のある話をしよう！

枝幸支部・門脇先生は、十一月に実施した「枝幸支部学習会」と、学習会に向けた支部としての準備の様子についての発言でした。支部執行部として集まって「あんなことはできないかな」「こんなことしたらおもしろいんじゃないか」と、支

部の組合員の先生方が集う場づくりを考えながら夢のある話ができたと語ってくれました。仲間とどんな学校づくりをしていくか語り合い考え合う学び合いの場、大切にしていきたいですね。

紙面の都合ですべての発言を紹介できないのが残念です。定期大会の内容を還流する分会会議の開催というのも素敵ですね。この節目を大切に春からも、集う意義を確かめ合い、豊かな組合づくりを進めましょう。



新年度本部役員体制

短い選挙日程の中での各分会での取り組み、ありがとうございました。本部執行部役員ならびに会計監査・執行委員選挙、結果をお知らせします。2013年度も、よろしくをお願いします。

- 委員長 八木 博 (稚内東小学校)
- 副委員長 阿部 諭 (稚内南中学校)
- 高 一伸 (枝幸南中学校)
- 書記長 内藤 修司 (専従 現籍校：稚内東小)
- 書記次長 飯田 毅 (稚内中学校)
- 遠藤 玄 (豊富小学校)
- 会計委員 布村 岳司 (鬼志別小学校)
- 下村 望 (豊富中学校)
- 会計監査 高橋 正一 (富磯小学校)
- 執行委員 長畑幸太郎 (鬼志別小学校)
- 村井 健 (歌登中学校)

◆会計監査の欠員一名、専門部選出執行委員は、六月中央委員会で代議員による選挙を行います。

臨時教職員のみなさんの

組合費について 一年かけて議論をはじめよう

定期大会の「第四号議案」、一般会計予算案に関わって、お知らせさせていただいた臨時教職員期限付・講師・市費・支援員のみなさんの組合費についてです。

現在、期限付の先生方の組合費は「毎月一〇〇〇円」です。内訳は、「宗谷教組分一〇〇〇円、道教組納入金として二〇〇円送金」となっています。しかしながら現状は、道教組から請求される「道教組本部納入金」は五〇〇円。つまり期限付組合員1人につき、三〇〇円を宗谷教組が補填する形になっています。二〇〇九年度に値上げの検討をしましたが、断念をしている経過を踏まえています。

道教組は今年1月、「道教組本部納入金」を五〇〇円値上げし「一〇〇〇円」とする提案をしました。これはこれまでの宗谷での論議の到達点を鑑みても快諾できない提案、だということを宗谷教組として道教に伝えてきたところです。道教組はこれを踏まえて、今年

度の道教組定期大会（三月十六・十七日実施）での提案を見送り、一年間かけて各単組（宗谷教組など地方の一〇の組合）で議論をすることになりました。宗谷教組ではこの機会に、期限付組合員の組合費について考えるきっかけとし、時間をかけて集团的討議を進めていきたいと考えています。

学び愛フェスタ、 ステキな分科会をみんなで創ろう！ 集い語り合う分科会アイデア大募集！

宗谷の春の風物詩といえば学び愛フェスタ。今年は5月11日に予定しています。

よくフェスタの話題になると「一昔前のフェスタ、体育館のござの上で車座になって語り合ったよね」と聞きます。今から十年以上前のこと…でしょうか。また、昨年秋に開催された「わっかない支部フェスタ」では、事前に先生方から『学びたいこと』を挙げていただき、そこから計画された学び愛でたくさん語り合うことができたと思っています。

こうした良さを参考にしながらフェスタを創っていきたいと思います。定期大会の場でもアンケートを行ったところ、こんな声を聞くことができました。

- ◆ベテランの先生や大先輩（管理職）の夢（教育のロマン）を聞きたい！日常的に「明日の授業につながる」ので職場で聞く時間がない。
- ◆元高教組の先生を招いて事務職員について現状と未来を語り合う会。
- ◆同じ世代（三十代）で授業づくりや学級づくりについてじっくり語り合いたい。

そこで、宗谷情報でもこのような声を大募集します。ぜひ、魅力的な分科会づくりのためにあなたの声をお寄せください。

右のアンケートを分会長さんに提出するか、メールでお待ちしています。

festa@soya-teachers.org

までお願いします。



「語ろう・学ぼう！ 学び愛講座」 こんなあったらいいアンケート

語りたい内容、学びたいこと、この人から学んでみたい…など希望を書いてください。

〇をつけてください。
小学校勤務・中学校勤務 /
20代・30代・40代・50代

分会長さんに提出してください。
ありがとうございました。

青年部が、語り合う学習会 「第2回・学び座」を開催

二月二日に、青年部主催学習会「学び座」を行いました。管内各地から五名の先生方の参加があり、学校づくりへの関わり方や、自身の学級づくりなどについて語り合い、「ぜひ、また集まって語り合いね」と語り合いお開きとなりました。

そこで、第二回「学び座」が企画されました。三月十六日一三時から宗谷教育会館で行います。

第2回「学び座」
三月十六日(土) 13時〜 / 宗谷教育会館

自分が日々がんばってきたこと、仲間と学び合うことで実践につながる…など集い語り合うことでの学び愛が広がることを願っています。難しい資料を作る必要はありません。今年度、子どもたちのために作成したもの、例えば学習指導案、学級経営案、懇談資料や学級通信などをもとに、目の前の子どもたちのことを語り合いませんか？

宗谷の四季

▼三月。学校の一年の中で一番華やかで一番忙しい時期に突入します。子どもたちと卒業・進級に向けた取り組みを進めながら、先生方の中では学校・職場、そして分会として春からの学校づくりを真剣に考えます。

▼「集う意義を確かめ合い、豊かな宗谷教組づくりを進めよう」。このフレーズをキーワードとして、組合に集う先生方の声を大切にしたり取り組みをすすめてみましょう。「学校の先生」という仕事の責務を全うし、力を最大限に発揮していくために、どんなに小さな要求にも耳を傾け、考え合える……そんな分会活動が広がっていくことを期待しています。(nativ)